

授 業 科目名	【 G 】 商法(手形法・小切手法)Ⅱ		区 分	開講年次	【 G 】 3	単位数	【 G 】 2
			その他参照				
科目区分	専門科目						
授業形態	オンライン授業（動画・音声配信型）						
担当形態	単 独						
施行規則に定める科目区分又は事項等							
サブ タイトル	手形・小切手法の基礎を学ぶ				担当者	及川 知宙	
授業概要	【概要】	手形・小切手は実務上多く取り扱われているものではあるものの、学生のうちに触れる機会は非常に少ない。そこで、手形・小切手法の学習を通じて、手形・小切手がどのようなものか理解する。 本講義では、約束手形(裏書から手形訴訟)、為替手形・小切手、手形に代わる信用手段を概説する。					
	【到達目標】	手形・小切手がどのようなものかを理解し、手形・小切手法の基本的な考え方を習得する。					
履修条件	商法(手形法・小切手法)Ⅰを履修していることが望ましい。						
ディプロマ・ポリシーとの 関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①	◎	(よく当てはまる)				
	DP(ディプロマ・ポリシー)②	－	(当てはまらない)				
	DP(ディプロマ・ポリシー)③	－	(当てはまらない)				
	DP(ディプロマ・ポリシー)④	－	(当てはまらない)				
他科目との 関連性	「商法概論」及び「民法概論」の内容を理解しておくことが望ましい。						
教科書	早川徹著『手形・小切手法 第2版』(2018年 新世社)						
参考書	特になし。						
評価方法	講義内容の理解度を見るため事後課題及び学習到達度確認テスト(2回)で評価します。 評価の配分割合:事後課題60%、学習到達度確認テスト40%。						
フィードバック 方法	事後課題の解説及び学習到達度確認テストの講評を行う。 履修者からの質問はメール等の手段により随時受け付ける。						
評価基準	各回の授業内容につき、これを十分に理解した者はS評価、理解した者はA評価、概ね理解した者はB評価、最低限の理解をした者はC、理解が不十分な者はD評価とする。とする。各回の授業内容についての理解が不十分な者は、その程度に応じてD評価またはE評価とする。評価不能の場合にはF評価とする。						
その他	特になし。 ※Gカリ:選択						

授 業 科目名	【 G 】 商法（手形法・小切手法）Ⅱ	区 分	開講年次	【 G 】 3	単位数	【 G 】 2
		その他参照				
授業回数	授業内容					
1	裏書					
	予 習： 裏書（114頁から129頁）（90分）			復 習： 講義内容の復習及び事後課題（90分）		
2	善意の手形取得者の保護（1）					
	予 習： 抗弁の制限と手形抗弁から人的抗弁（悪意の抗弁）（130頁から140頁）（90分）			復 習： 講義内容の復習及び事後課題（90分）		
3	善意の手形取得者の保護（2）					
	予 習： 人的抗弁（人的抗弁の個性）から善意取得（140頁から148頁）（90分）			復 習： 講義内容の復習及び事後課題（90分）		
4	特殊の裏書（1）					
	予 習： 特殊の譲渡裏書（149頁から153頁）（90分）			復 習： 講義内容の復習及び事後課題（90分）		
5	特殊の裏書（2）					
	予 習： 特殊の裏書（154頁から163頁）（90分）			復 習： 講義内容の復習及び事後課題（90分）		
6	手形の支払（1）					
	予 習： 支払のための呈示・支払の方法（164頁から168頁）（90分）			復 習： 講義内容の復習及び事後課題（90分）		
7	手形の支払（2）					
	予 習： 振出人の免責・支払の猶予（168頁から177頁）（90分）			復 習： 講義内容の復習及び事後課題（90分）		
8	遡及					
	予 習： 遡及（178頁から182頁）（90分）			復 習： 講義内容の復習及び事後課題（90分）		
9	手形保証・隠れた保証のための裏書					
	予 習： 手形保証・隠れた保証のための裏書（183頁から186頁）（90分）			復 習： 講義内容の復習及び事後課題（90分）		
10	第1回学習到達度確認テスト及び解説					
	予 習： 第1回から第9回までの復習（90分）			復 習： テスト範囲及び解説の徹底理解（90分）		
11	時効・利得償還請求権・除権決定・手形訴訟					
	予 習： 時効・利得償還請求権・除権決定・手形訴訟（187頁から195頁）（90分）			復 習： 講義内容の復習及び事後課題（90分）		
12	為替手形					
	予 習： 為替手形（199頁から206頁）（90分）			復 習： 講義内容の復習及び事後課題（90分）		
13	小切手					
	予 習： 小切手（207頁から218頁）（90分）			復 習： 講義内容の復習及び事後課題（90分）		
14	手形に代わる信用手段					
	予 習： 手形に代わる信用手段（219頁から226頁）（90分）			復 習： 講義内容の復習及び事後課題（90分）		
15	第2回学習到達度確認テスト及び解説					
	予 習： 第10回から第14回までの復習（90分）			復 習： テスト範囲及び解説の徹底理解（90分）		